

令和2年度 【コミュニティー・スクール】鳥栖北小学校だより

とうかえで

第7号

令和2年7月22日(水)

鳥栖市立鳥栖北小学校

校長 天野 雄二

鳥栖北小HP <https://www.education.saga.jp/hp/tosukita-e/>

TEL 0942-83-2296 FAX 0942-83-2709

不安定な天气が続きます。晴れたり曇ったり雨が降ったりと1日のうちで天气が変わり、外遊びをしている子どもたちが戸惑うこともたくさんありました。梅雨明けが待たれるところです。

今週は、まとめのテストをしている学年学級をたくさん見かけました。子どもたちが真剣に考えている姿を見ながら「がんばれー」と心の中で願いながら、学級の様子を見て回りました。

学習の遅れをだいぶん取り戻してきており、行事等を削減したり簡素化したりして、授業に専念してきた成果が表れています。

☆通学路点検(7/14 火)

点検箇所副区长様、交通指導員様、センター長様、警察、土木事務所、PTA 会長様はじめ役員様、鳥栖市維持管理課、鳥栖市教育委員会の皆様のご協力を得て、防犯カメラ設置要望箇所及び通学路点検(3箇所)を行いました。

①



東門付近
(防犯カメラ設置希望箇所)

②



正門前(点検箇所)
(防犯カメラ設置希望箇所)

③



宿町交差点から養父交差点間の道路(点検箇所)

①について

東門から南へ登下校する児童は多く、防犯カメラがあると不審者等へ抑止力がはたらくのではという視点から、防犯カメラの設置を要望しました。

②について

北小へ横断歩道を渡った児童が、駐車場へ出入りする道を横切る際に危険であるため、また、校門入り口であるため点検箇所、防犯カメラ設置要望箇所としました。保護者の皆様へ配布いたしましたプリントの通り、学校へ車を乗り入れる場合は、十分に注意していただき最徐行でお願いいたします。

③について

道路も狭く、写真では分かりづらいのですがのぼり旗が立っているところは水路で橋があるところです。その部分だけ路側帯が狭くなっており、また、水路に簡単に降りられるようになっています。道路には「学童注意」という運転手に注意を促すものがあり、出来得る対策はしてありました。道路が狭く車も用心して通行するので事故はほとんどあっていないと警察の方から報告がありました。しかし、一列で下校する指導の徹底は必須であるとの指摘も受けました。翌日には橋の横から水路に下りないように、宿町の田中区長様に注意を促す赤いコーンを置いていただきました。

【小松菜の体験から】

春まきで育てようと4月上旬に小松菜の種を畑にまきました。4月の下旬には間引きをし、順調に成長していました。すると、アオムシが小松菜をおいしそうに食べだしました。モンシロチョウの幼虫はキャベツが餌と思っていたのですが、アブラナ科の植物を餌としているということでした。キャベツも小松菜もアブラナ科の植物だったのです。

たくさんアオムシが発生しましたので、畑の半分を防虫ネットで囲み、モンシロチョウが卵を産み付けられないようにしました。防虫ネットが足りなかったので残りの半分はそのままにして、「まあ、3年生の理科ではモンシロチョウの成長を学習するので・・・」などと自分に言い聞かせながら、「モンシロチョウのご自由に」ということにしました。やはり、アオムシがたくさん発生し、小松菜を食べ始めました。するとどうでしょう。アシナガバチもスズメバチも小松菜に寄って来ているのです。よく見てみると、ハチはアオムシを食べています。また、寄生バチに卵を産み付けられ、体から寄生バチの幼虫がたくさん出てきているアオムシもいました。

実は、アブラナ科の植物は、食べられると揮発性の化学物質を発生させ、それがメスのハチを引き寄せます。ですから、アブラナ科の植物を食べるアオムシは他の生物の餌になるのは必然なのです。

小松菜を育てるだけで、いろいろな体験ができ、植物の偉大さと自然の厳しさを感じることができました。

コロナ禍の中、体験活動を取り入れた学習を行うのは、難しいのが現実です。早く、子どもたちが体験活動ができる環境になることを願っているところです。